



2021年12月1日

森と海の自然科活動案内 テーマ「里川」

京都南部の疏水（鴨川運河）巡りの散策あれこれ

京都は平安以来千年の間我が国の首都として栄えてきましたが、明治2年東京に都が移り産業も急激に衰退し、人口も急減してきました。衰退していく京都を復興させるため、特に産業の復興を図ることを計画されたのが疏水事業でした。事業の主唱者である北垣国道府知事や工事を担当した田邊朔郎、府市関係者、市民が京都の将来を考えて、明治18年（1885年）から幾多の困難を乗り越え明治23年（1890年）に第1疏水が完成した。今回訪れる京都南部の疏水（鴨川運河）は第1疏水完成後の明治25年（1892年）から明治27年（1894年）にかけて京都市左京区冷泉放水口から伏見区堀詰町までの8.9kmを開削した疏水（運河）です。疏水といえば第1、2疏水が有名で森海科でもこれまでに数回訪れていますが、京都南部の疏水を訪れるのは初めてです。

マイナーな疏水ですが、散策していて知らなかったことがたくさんありました。その1つに、京阪墨染駅の近くにある欣浄寺に「伏見大仏」と呼ばれる大仏さんがあることでした。通常一般公開していませんので見ることはできません。例会当日は、お寺に大仏参拝の予約をお願いしておりますので、楽しみにしておいてください。

Cグループ担当 西井・藤井

記

- 1：日 時 2021年12月23日（木） 10時30分 雨天等で中止の場合は前夜メール
2：集 合 京阪鳥羽街道駅改札口に集合してください
3：持ち物 マスク、弁当、飲み物、雨具、シート、双眼鏡、日傘 等
4：目的地 横縄橋、伏見稻荷、石峰寺、宝塔寺、師団橋、藤森神社、墨染発電所、欣浄寺
5：行 程 約6～7km 距離は短く平坦です。

鳥羽街道駅・高松橋（岸和田煉瓦）・疏水沿いの道・横縄橋・伏見稻荷神社（休憩）

10：30 → 10：40 → 10：45 → 11：00～11：30

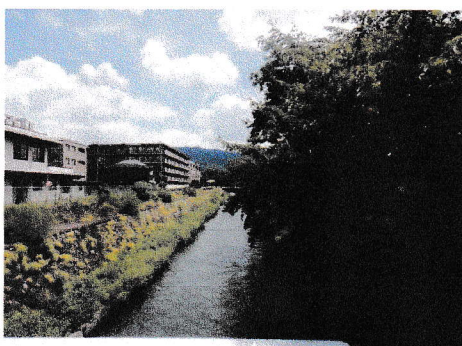
・ぬりこべ地蔵・茶碗子の井戸・石峰寺（伊藤若冲の五百羅漢）・宝塔寺・瑞光寺・

→ 11：35 → 11：45～12：15 → 12：30～13：00（昼食） →

疏水沿いの道・師団橋・藤森神社（不二の名水）・墨染発電所・欣浄寺・京阪墨染駅

→ 13：20 → 13：40（トイレ休憩等） → 14：00 → 14：30～14：50 15時解散

* 石峰寺には参拝したいと思います。拝観料金300円は科より補填していただきます。また、欣浄寺へのお布施も併せてお願いします。



鴨川運河の起点



田邊橋は疏水工事責任者の田邊朔郎から